



ハトダヨ  
2025年  
3月号

函館市中央図書館

編集・発行

函館市中央図書館 指定管理者

図書館流通センター・マルエイヘルシーサービス共同事業体

TEL:0138-35-5500 FAX:0138-35-5525

函館市中央図書館だより

第106号 令和7年3月1日 発行

## 予約 ランキング

予約数の多い本ランキングを紹介  
します。こちらを参考に読みたい  
本を探すのも一つの方法です。

令和7年2月20日現在、予約回数の多かった本をご案内しています

- |    |                      |          |
|----|----------------------|----------|
| 1  | 架空犯                  | 東野 圭吾／著  |
| 2  | クスノキの女神              | 東野 圭吾／著  |
| 3  | 藍を継ぐ海                | 伊与原 新／著  |
| 4  | 成瀬は天下を取りにいく          | 宮島 未奈／著  |
| 5  | 気の毒ばたらき              | 宮部 みゆき／著 |
| 6  | よむよむかたる              | 朝倉 かすみ／著 |
| 7  | 迷惑な終活                | 内館 牧子／著  |
| 8  | 禁忌の子<br>We were born | 山口 未桜／著  |
| 9  | わたしの知る花              | 町田 そのこ／著 |
| 10 | 恋とか愛とか<br>やさしさなら     | 一穂 ミチ／著  |

## 図書館俳句ポスト受賞者

11月俳句ポストへ応募された中から選ばれた作品です。お題は「山茶花(さざんか)」。

佳作

火山湖の大白鳥の夕べかな  
それぞれの影引きずって冬に入る  
安福巖  
練合陽子

入選

よたよたと指の腹へと雪虫は  
値札切る新しき靴冬麗  
山茶花や初産の子へメール打つ  
銀子  
小野寺礼子  
池田陽子



## 展示コーナーのご案内

### 開架展示

#### 『いろいろな地図』

令和7年3月4日(火)～3月30日(日)

地図に関連する本を集めてみました。

地図を通して旅気分を味わったり、歴史をたどるものや物語を感じてわくわくしたり…。地図の魅力を感じてみませんか。



### ミニ展示

#### 「ラジオ放送100周年」

令和7年3月1日(土)～3月30日(日)

国内で初めてラジオ放送が開始されてから100年を迎えます。これを機会にテレビ放送・ラジオ放送などのマスメディア関係の本を集めてみました。



ハトダヨにしか  
載っていない!

ぜひ読んでみてください!

## スタッフのおすすめ本

場所：A31  
請求記号：S783.47ミウ

タイトル：「カズのまま死にたい」

著者：三浦 知良 出版社：新潮社 (2020年2月)

日本経済新聞に隔週で連載されている「サッカー人として」のコラムをまとめた本の第3弾。  
2014年から2019年までの連載をまとめています。

出版年から5年たった今年の2月でカズは58歳。今もなお現役をつらぬいているキングカズいつまでもカッコイイです。その当時の話だけでなく、ドーハの悲劇などの悔しさや監督への思いなども語っています。

苦しいけど毎日のトレーニングを欠かさないカズの姿勢に背中を押されます。

場所：A7~9 他  
請求記号：291.21ノ

タイトル：「ショッピング・イン・アオモリ」

著者：能町 みね子 出版社：東奥日報社 (2024年10月)

函館から青森に新幹線だとほんの1時間で着いてしまうんですもの、たまらなく行きたい!という気分になってしまったこの本は、愛猫と共に夏の間は猛暑の東京から離れて青森での避暑生活を楽しむ能町さんの2年近くの逃北探訪記です。県内で訪れた場所やそこで買ったものを記録しつつ、友人とのエピソードを楽しく綴っています。旅先で入る地元のスーパーって楽しいよね!青森駅前から西に進むと憧れのレトロ喫茶、こぎん刺しや津軽塗の店にもたどり着けるのね!青森好きにも青森初心者にも、読んだらワクワク旅に出たくなる1冊です。

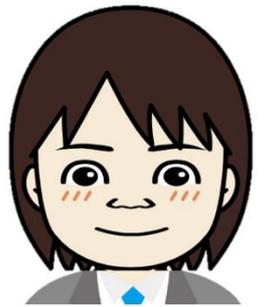
場所：A25~30  
請求記号：Fツ

タイトル：「深夜の博覧会」

著者：辻 真先 出版社：東京創元社 (2018年8月)

2020年に最高齢88歳でミステリランキング3冠を達成した辻真先さんの小説「昭和〇〇年の探偵小説」のシリーズ第一作目です。昭和初期の東京一名古屋で起きた不可思議な殺人事件。主人公の少年那珂一兵(なかいっぺい)がこの謎を見事に解き明かしていきます。実は2作目以降の主人公は彼ではありません。でも、主人公を助けながら謎を共に解いてゆく名探偵なのです。まずは第一作目から、彼の活躍を追ってみませんか?

## 館長随想(三十六)



図書館に勤務しているというと、本好きで知識も豊かと思われることが多いです。まして館長をしているのであればさぞかし…と期待されるからなのでしょうが、多様な方がお見えになり常に新しいワードを耳にします。

最近覚えたのは「プルーフ」、本などのグラのことだそうです。若いころは負けず嫌いも手伝い知ったかぶりをしてあとでこっさり調べていましたが、年も取り素直に教えてもらおうように心がけています。それでもいいふりこきの性格はなかなか変わらさず出来もしないのになんでも引き受けてしまう性格は生涯治らなさそうです。

館長になって俳句の会にお誘いいただきました。最初は選句(会員の投句を選ぶ)だけでいいから、と言われてやってみましたが、なかなか難しい。俳句は季語が入りますが、知識もないので季語が複数入っていることさえも気づきません。

せっかく入会しているのだから、と今年は心を入れ替え取り組むことにしました。図書館職員でいいところは昼休みの休憩時間は館内の本を読むことができるということです。俳句雑誌を開くと渡り鳥の写真があり「花鶏」と書かれてありました。2月8日付函館新聞を見ますと木古内にこの鳥の大群が確認されたと記事がありました。この鳥は「アトリ」と読み、函館新聞にはカタカナで書かれてありました。季語にもなっているこの鶏に会いたくなりました。

俳句は正解がなく何より作ってみないと上達しないということ。毎回私もここで教わりながら披露してみたいと思います。年末には少し上達していることを願いながら。

去る群れを見上げ引鶏点となり

(館長 落合仁子)

# デジタル資料館 紹介



おひな様を飾りつける新明校の  
子供たち (ph005499)

昭和33年、「雪深い北海道の弟妹達へ」と東京の大妻高校から北海道の小学校におひな様が送られました。写真は上ノ国・新明校の子どもたちです。中には初めておひな様を目にした子もいて皆大喜びだったそうです。当時の新聞には「東京から友情のかけ橋が松山の奥深くへかけられた」と書かれました。

(参照:昭和33年3月6日付北海道新聞記事(渡島・松山版))



# おすすめ作家診断チャート

START

Yes!  
No!

現代的な  
小説が好みだ

新刊情報は常に  
チェックしたい

長編小説を読み  
切れる自信がある

恋愛小説  
が推し

ドラマや映画  
になった小説は  
外せないと思う

歴史小説  
が好き

童話の世界  
の住人だ

男性作家の  
作品を読みたい

怪異譚  
に惹かれる

A

B

C

D

E

F

G

H

**A 星 新一** 掌編小説の神様の切れの良い作品を!

**B 司馬 遼太郎** 歴史小説に酔いしれて!

**C 西 加奈子** ハッピーエンドを楽しもう!

**D 綾辻 行人** ミステリー×ホラーの世界観!

**E 有川 浩** 恋愛小説名手の作品を味わって!

**F 江國 香織** リアルな恋愛描写と童話のギャップ!

**G 宮部 みゆき** ジャンルにとらわれない実力派!

**H 東野 圭吾** 紛れもない大作家の世界へどうぞ!